

【訓練の前提条件】

◇場外の被害状況	2月24日午後3時00分に東京湾北部地震発生。最大震度は7(場外の震度は6強)。建物倒壊や外壁・ガラス等の落下が原因で負傷者が多数発生している。
◇鉄道・インフラ状況	鉄道全面ストップ、現時点で復旧の見込みはなし。電気・ガス・水道停止。固定電話は通信不能、携帯電話はつながりにくい。メールは送受信可能。
◇周辺施設の開設	中央区役所(対策本部設置)、消防署(火災現場に全力投入)、救急病院(受け入れ開始)、がんセンター(状況不明) 京橋築地小学校(防災拠点開設、住民が多数避難)、歌舞伎座、銀座三越(帰宅困難者向けに待機スペースを開放) 都が全都立学校及び東京武道館を「帰宅支援ステーション」として開放したとの情報有り。

15:00~15:10 全体進行:防災部長より訓練の流れを説明

15:10~ 班別訓練	災害対策本部「ぷらっと築地」(全体指導は <b>防災部長</b> )	
	救急班(六南T、六南S、指導は <b>防災アドバイザー</b> )	情報班(ぷらっと責任者、 <b>演技</b> 協力は <b>青年会議所2名</b> )
15:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぷらっと救護所」設置決定。</li> <li>・救護所リーダーの決定</li> <li>・来街者を一旦、外に出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資器材(ラジオ・ホワイトボード等)を設置</li> <li>・本部命令系統の決定(<b>S理事長</b>が対策本部長)</li> <li>・目印を装着(ベスト等に白ガムテープに役名を書き入れ貼る)</li> </ul>
15:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レイアウト通りにイス機の配置換え</li> <li>・資材器材配置 (ブルーシート・毛布・段ボール・ガムテープ等)</li> <li>・重症etc.各エリアの担当者を指名</li> <li>・目印を装着(ベスト等に白ガムテープに役名を書き入れ貼る)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上枠内の前提条件を収集する(<b>演技</b>)をして、鈴木理事長に報告 →報告と同時に、整理して掲示ボードに書いていく。</li> <li>・火災発生との連絡を受け、消防団に消火依頼、 →消火器集めとスタンドパイプ設置指示</li> </ul>
15:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負傷者の受け入れ準備(救急リュック、AED等)</li> <li>・軽傷者<b>青年会議所3名</b>来所;手当して帰宅困難者受け入れ所へ送り出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪エリアから中等傷者(骨折)救出の依頼を受け、ぷらっとへの搬送を指示</li> <li>・諏訪エリアから重傷者(意識なし)救出の依頼をうけ、ぷらっとへの搬送指示</li> <li>・がんセンターに伝令を飛ばし、搬送可能か確認 →可能との返答をうけて、救護所に順次搬送を指示</li> </ul>
15:25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大腿骨骨折の中等傷者が運び込まれる:傷の応急手当 →搬送のために毛布、タオル、ガムテープを用いて全身固定</li> <li>* 負傷者チェックカードに必要事項を記入</li> <li>・意識のない重傷者が運び込まれる:心肺蘇生とAEDで救命 →搬送のために毛布、タオル、ガムテープを用いて全身固定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・断水時のトイレ用ビニールセット設置指示</li> <li>・飲料水確保のための自販機開放準備</li> <li>・断水時の消火栓からのスタンドパイプを通じての給水を指示</li> <li>・その後…夜間に備えて照明設備設置指示</li> </ul>
15:30	<b>班別訓練終了</b>	

15:30~15:50 全体訓練:京橋消防署による負傷者対応指導

15:50~16:00 講評 のち 訓練終了

る。ぷらっと施設は使用可能。

ブロックリーダー・サブリーダー(リーダーは振興組合S、指導は消防団員H、消防団員I)

・訓練なので、ぷらっと外で待機

・諏訪エリアで中等傷者と重傷者発生!

(①中等症者:消防団員U:大腿骨骨折)

(②重症者:消防団員K:意識なし呼吸なし)

→ブロックリーダーが本部に救出器材と搬送に必要な資材を要請

・①②の傷者を、段ボールを敷いた毛布で8人で持ち上げ、救護所へ搬送  
※搬送経路の安全を確認しながら搬送する

→  
・①②の傷者を、宅配便のカートを用いてがんセンターへ搬送